

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月26日	記入者		連絡先	2725
平成18年度部名	経済部	課名	産業振興課	課長名	下山 啓二
平成19年度部名	経済部	課名	産業振興課	課長名	下山 啓二
事務事業名	広域連携支援事業				
予算上の事務事業名	広域連携支援事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		31310		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第3節 工業の振興				
施策名	第1施策 人材、技術など経営資源の強化支援				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
3 個別計画の概要					
計画名	概要 中小企業の自立化を実現するためには、行政地域を超えた企業、大学、支援機関等とのネットワークが不可欠であることから、首都圏南西地域産業活性化フォーラムを開催している。				
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	サービス提供	▼	5 事業開始年度	平成18年度	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
多くの国内中小企業は、大手企業の生産拠点が海外流出したことや、海外からの調達が一般化したことにより、事業規模が急激に縮小させられてしまった。中小企業が地域に留まり事業を継続していくためには取引先や景気に左右されない自立化することが急務であり、自立化するためには自社製品や自社技術の開発が不可欠であり、当該事業を通じて自社製品、自社技術開発のための大学、企業、支援機関等との連携を支援する。				企業 大学 支援機関(行政・商工団体)	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏南西地域産業活性化フォーラムの開催(7月5日・10月18日・2月15日) ・分科会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 青学ビジネスフォーラム(6月24日・11月4日・1月20日・3月31日) 神奈川工科大健康福祉フォーラム(4月20日・11月2日) 玉川テクノフェア(12月8日) ・産学・産産マッチング会(3月5日) ・意識調査・連携コーディネート 					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	1,995	1,517	10,895	10,895	11,000
一般財源	1,995	1,517	10,895	10,895	11,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,300	900	650	650	650
事業コスト合計	3,295	2,417	11,545	11,545	11,650
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	首都圏南西地域連携サポート事業			対象名称 と単位	経費/参加人数
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	3,295	2,417	11,545	11,545	11,650
対 象 数	471	321	600	700	1,000
単位あたり経費(円)	6,996	7,530	19,242	16,493	11,650
前 年 度 比		1.08	2.56	0.86	0.71

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	開催回数	指標式と指標の説明		フォーラム・分科会・マッチング会の開催回数	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	3.0	3.0	11.0		
目標	3.0	3.0	11.0	15.0	15.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	マッチング件数	指標式と指標の説明		企業の新分野進出を達成させた件数	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	10.0		
目標	0.0	0.0	10.0	20.0	30.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業			
	[] : 概ね良好な状況である事業			
	[] : 見直しを行う必要がある事業			
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		企業の事業活動は行政区域を超えた範囲で行われたことから、地域産業振興を図るために広域連携は不可欠なことである。そのため、産学・産産による連携をコーディネートする当該事業は企業活動に直結したサービスであり、拡充すべき事業であるが、同時にコストも抑える必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
<p>・他の事業との連携等を図ることにより参加企業数を増やすこと。</p> <p>・外部ネットワークとの有機的な連携を図ることにより、対象企業の多様化するニーズに対応を図る。</p>			<p>事業の性質上単年度内に成果が得られるのではなく、成果が出るまでに時間を要する場合が多い。また、対象とのコンタクトが不定期であるため成果の把握が困難であり、工夫を要する。</p> <p>事業効果を高めるためには、他の支援機関等と強固なネットワークを構築する必要がある。</p>		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		産学・産産連携が更に促進されるよう、事業の仕組みを検証するとともに、連携コーディネートの手法を見直す。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			